

絆〜加茂

発行・編集
社会福祉法人
川西市社会福祉協議会
加茂小地区福祉委員会
委員長 藤田 喜志夫

2018 謹賀新年 今年もよろしくお願い致します。

明けましておめでとうございます。地域の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素は加茂小地区福祉委員会の福祉活動に、ご理解、ご支援、ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成25年度より5ヶ年計画で第3次加茂小地区福祉計画が推進され平成29年度終了を迎えます。私が委員長就任と同時にスタートしましたが、早5年が経過しました。手探り状態で試行錯誤しながら新事業に挑戦して参りました。福祉事業38項目を掲げ推進し、約85%達成しています。未達の部分は更に改善しながら次年度計画致します。地区福祉委員会の組織や運営など改善しながらチームワークを大切に推進して参りました。

役員、理事、民生委員、福祉委員・地域住民皆様、が各立場で協



加茂小地区福祉委員会
委員長 藤田 喜志夫

「第3次加茂小地区福祉計画」を省みて

調性を發揮して頂き、辛い時、苦しい時を経た時の達成感は心底幸せを感じました。

特に感動したのはさつま芋収穫祭の時、途中から雨が激しくなる中最後まで掘り続けて頂いた、多数のご家族の方々（親子）への思いや、幾多の苦難を乗り越え居場所の開設が実現でき、多数の方々のご利用頂いている事など数々あります。

その他の行事に於いてもお互いに助け合い支え合い、絆が芽生え始めたと感じています。

少子高齢化が進行する現在、これからも福祉活動は地域にとって切り離すことのできない活動だと感じています。

第4次地区福祉計画（平成30～34年度）策定に当たり、川西市の掲げる総合事業（介護予防）や地域共生社会実現への取組に対し、私達は何をなすべきか、地域住民みなさまと共に考え、地域づくりに一歩前進出来るよう努力して参ります。

地域の皆様、引き続き温かいご支援頂きますようお願い申し上げますと共に、新しい年が皆様にとって素晴らしい年となりますようお願い申し上げます、新年のご挨拶と致します

加茂小地区福祉委員会 第3次地区福祉計画
(平成25年4月～平成30年3月)



福祉月報

福祉月報

『福祉月報』は、こころ豊かに暮らすために

重点事業

① 福祉情報のお知らせ

一人ひとりに
福祉情報をお知らせ
福祉情報のお知らせを毎月行う
福祉情報をお知らせ。こころ豊かに暮らすために
福祉情報をお知らせ。

② 福祉の形作りづくり

福祉の形作りづくりを毎月行う
福祉の形作りづくりを毎月行う
福祉の形作りづくりを毎月行う
福祉の形作りづくりを毎月行う

③ 子どもと福祉の形作りづくり

子どもと福祉の形作りづくりを毎月行う
子どもと福祉の形作りづくりを毎月行う
子どもと福祉の形作りづくりを毎月行う
子どもと福祉の形作りづくりを毎月行う

④ 福祉の形作りづくり

福祉の形作りづくりを毎月行う
福祉の形作りづくりを毎月行う
福祉の形作りづくりを毎月行う
福祉の形作りづくりを毎月行う

[illegible]

笑顔で交わる、住み良い街づくりを目指して



新年明けましておめでとうございます。

初春を迎え地区福祉委員会皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年は、コミュニティ事業では台風の影響等で中止・変更等がありましたがさつま芋豚汁が美味しく出来、加茂まつりも無事に進める事が出来ました。

これも地区福祉委員会の皆様を初め諸団体等のご支援の賜と厚く御礼申し上げます。

前年度よりカフェ「憩い」が 2 ヶ所で皆様

加茂小学校区コミュニティ推進協議会

会 長 白崎 邦男

のご努力により暖かい雰囲気の中で会員の方が楽しんで来て居られるのを見て定着しつつ、更なる展開を願っております。

これから更に少子高齢層化が進行し、認知症予防活動が地域全体して取り込む課題であると考えられます。

今後 5 カ年計画に当たっては、福祉ネットワーク会議を通じて、予防活動等が更なる発展されますようご祈念申し上げ新年の挨拶と致します。



視点：団塊世代のみなさまへ

子ども達へ地域の伝承を伝えよう！



加茂小地区福祉委員会

副委員長 大田 正

おもしろい。2025 年には団塊の世代が全員 75 歳以上となり、地域で何らか人の手を借りなくては日常生活に支障をきたす人が増えてくるだろう。

ちょっと目先を変えてみよう。道でぶつかりそうになっても「ごめんなさい」と言わずに去って行く人。

知りたいことや見たいもの、心地いいもの

だけに注意と関心を払い、周囲にいる人の存在する頭から消え去っていることはないだろうか。

人生の先達が自分の特技を生かして子ども達と協働で思い出をつくり上げ、自分たちのふるさとを大切に優しい心と人を思いやる心を育みたいものである。

～S O S 行方不明模擬訓練を顧みて～

が一致協力して、認知症サポート養成講座と SOS 行方不明模擬訓練を随時開催しますので住民の皆様は積極的に参加していただいて認知症について理解を深めて頂き、認知症の方とその家族を支えるために、有効なまちづくりを目指していただけるように、皆さまでのご協力をお願い致します。



地域住民の皆様も良くと存じの通り、高齢者社会となり認知症の方が増加する現状にあって、認知症になっても住み慣れた地域で安心安全に生活を続けるためには、地域の方の見守り体制が一層必要となっております。従って川西地域包括支援センターと加茂小学校区のキャラバンメイト

次3月に予定しています。よろしくお願い致します。

活動力加茂

～カフェ「憩い」～



カフェ「憩い」

ひろばサロン会
第1拠点10月より
南花屋敷中央会館で再開

夏休み工作づくり



カフェ「憩い」加茂駅前店



さつま芋草取り



園児との交流会



花たんぽぽ冬のにぎやか発表会



靴の脱いシートキャンペーン

平成 28 年 5 月より老若男女どなたでもお越し頂ける為の居場所として、加茂小地域に加茂会館・南花屋敷中央会館 2 ヶ所でオープンして以来 1 年 7 ヶ月がたちました。

毎週水曜日の午後 1 時半より 2 時間ですが地域の方々に少しでも親しんで頂けるよう民生委員・福祉委員で運営しております。

現在では、お客様も定着してきており、お喋りや趣味の事をしたりして楽しい時間を過ごしております。

会館により出来る事が違いますが、これからも皆様に楽しい時間を過ごして頂けるように、美味しいコーヒーを用意してお待ちしております。

～夏休み工作づくり～

夏休み残り僅かになった 8 月 20 日、福祉委員の方々が中心となり、子ども達に工作づくりの場を作って下さいました。

竹細工・折り紙・手芸・段ボールと 4 つのコーナーがあり。子ども達はそれぞれに好きなコーナーで楽しそうに作品づくりをしていました。

出来た作品で遊ぶ子や、シールやテープでキラキラに飾ったりと、各々で自分だけの仕上がりになり、素敵な夏休みの 1 ページになりました。

～赤ちゃん交流会「かるがも会」～

毎月、第 1 水曜日の 10 時から 11 時 30 分、加茂ふれあい会館で赤ちゃん交流会「かるがも会」を行っています。

保健師さんや人生経験豊富なボランティアも参加し、皆さんと共に親子遊びや親子体操などを行っています。お母さん同士の交流も深められますし、心配事の相談にも応じています。

私達ボランティアも赤ちゃんの成長される姿を見せて頂き、元気と楽しみを頂いております。子育て中（生後 4 ヶ月～1 歳位）のお母さん、ぜひ遊びに下さい。お待ちしております。